

#02 「女性活躍」と「男女共同」と「ジェンダー平等」ってなんだろう

今回は、男女に関する3つのキーワードについて整理したいと思います。それぞれの意味やどういった関係か？一緒に考えていきましょう。

「女性活躍」は「男女共同」の1つの要素

女性活躍・・・「女性活躍推進法」

男女共同・・・「男女共同参画社会(基本法)」

まず、「男女共同」では、「あらゆる分野において、男女が対等に参画する機会の確保と利益の享受かつ共に責任を担う社会」を目標としていて、具体的には、男女が自らの意思で個性と能力を発揮できることや人権の尊重、充実した仕事や社会生活、家庭生活などを送ることができる社会とされています。

一方で「女性活躍」は、仕事において、自らの意思でその個性と能力を発揮できる社会を目指すとなっています。つまり女性活躍は、男女共同のための1つの要素と言えます。

「男女共同」には「ジェンダー平等」の概念が含まれている

ジェンダーとは、社会的・文化的に作られた性別のことです。例えば「男は強いから泣かない」、「女は細やかな気配りができる」という考えがジェンダーです。(一方で生物学的な性別をセックスといいます)

ジェンダー平等とは1人ひとりが性別に関わらず、平等に責任や権利や機会を分かち合い、物事を一緒に決めることを意味しています。

また、「男女共同」の前文には「男女が、お互いにその人権を尊重しつつ責任を分かち合い、性別にかかわらず、その個性と能力を発揮することができる社会」とあり、この「性別にかかわらず」はこのジェンダー平等の概念が含まれていると言えます。

(補足)ジェンダーにおいては、性別的な差異を「性差」と記載することもあります。

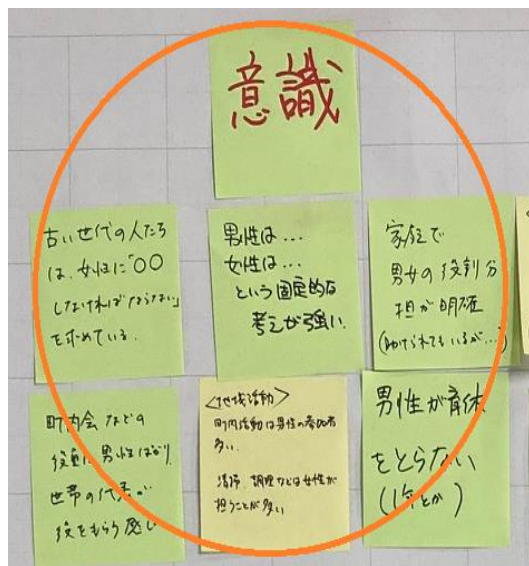
今回は「みんなで目指す！SDGs×ジェンダー平等」(内閣府作成)を参考に記載しています。

課題は「固定的な性別役割分担」

今年開催した、たかやま共創ミーティング「女性が活躍できるまちづくり」や「子どもを育てやすいまちづくり」で出た共通の課題として「性別による固定的な役割分担意識」がありました。職場や家庭、地域において、男女の役割分担が固定化されていて、ひとり一人の主体性の支障になっているとの意見でした。

男は〇〇、女性は□□といった固定的な役割分担意識はまさにジェンダーです。

個性と能力を十分に発揮することができる社会のためには、固定的な役割分担意識やジェンダー平等をここで問い直す必要があるのではないのでしょうか？



たかやま共創ミーティング
「女性が活躍できるまちづくり」
第1日目ワークショップより

5 ジェンダー平等を
実現しよう



※「ジェンダー平等」は、SDGsの目標5にも位置付けられているように世界の課題として捉えられています。